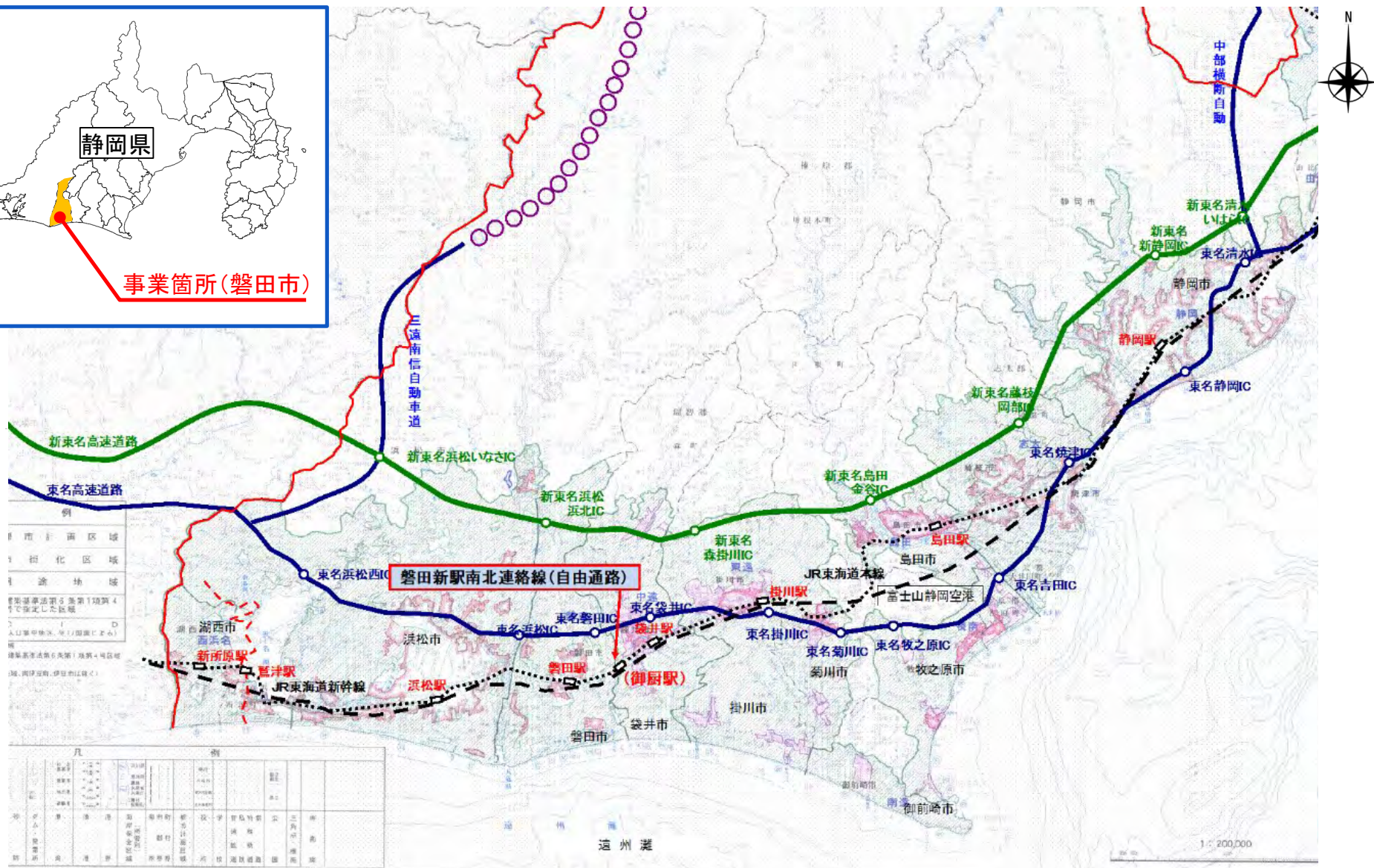
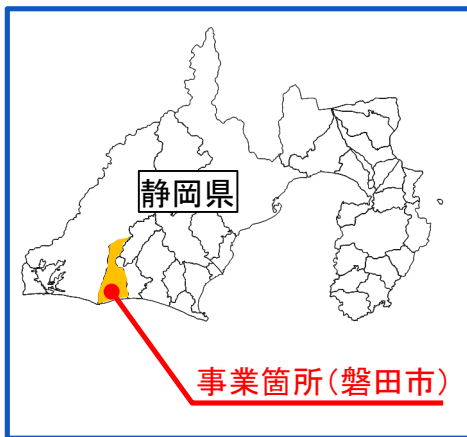


事業概要

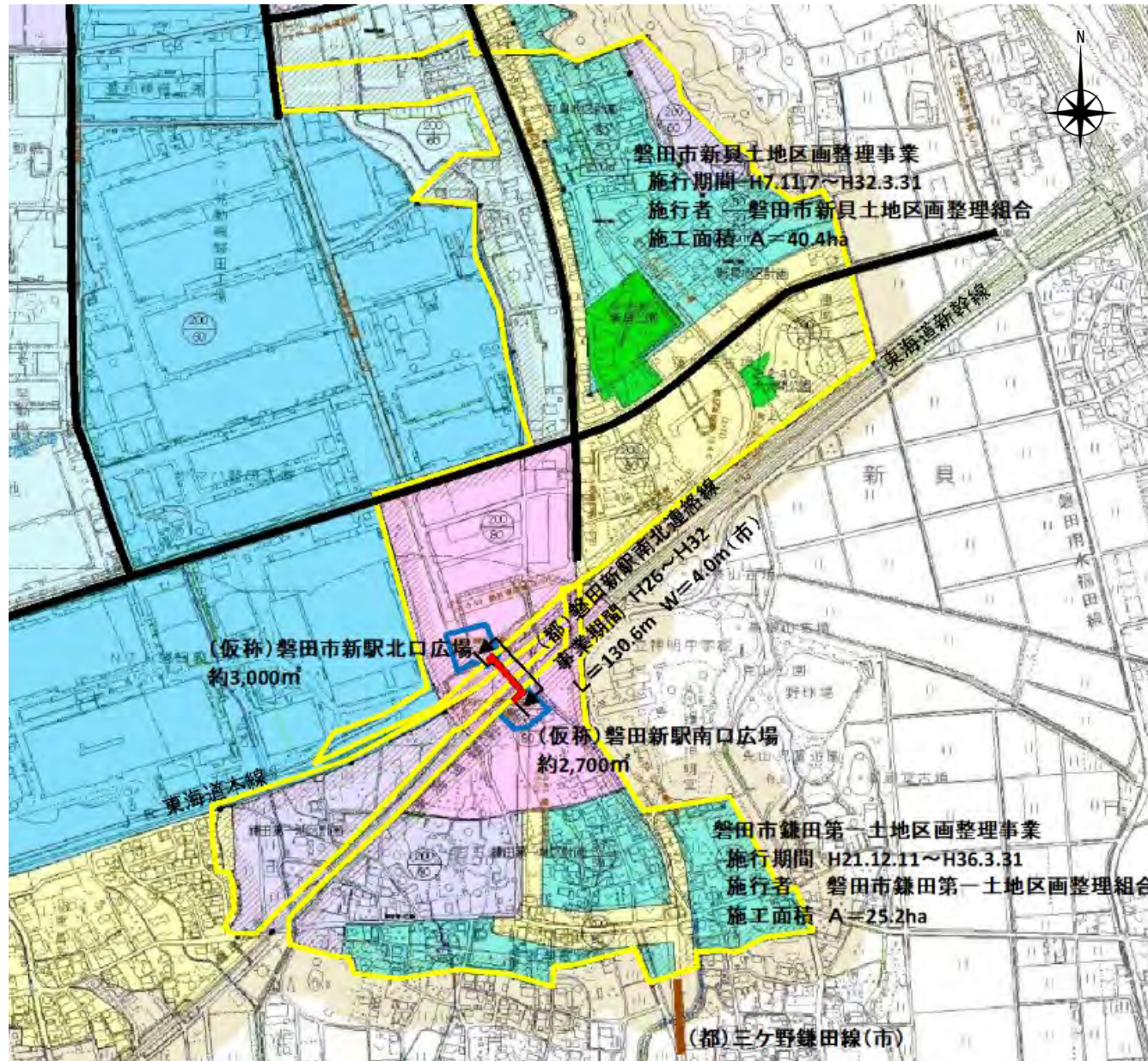
(磐田市：磐田新駅南北連絡線)

応募No.	6		
事業主体	磐田市		事業箇所 静岡県磐田市鎌田地内
応募者名	磐田市役所都市整備課		
ふりがな 事業名称	いわた と し けいかくどうろじぎょう 磐田都市計画道路事業 8・7・3号 いわたしんえきなんぼくれんらくせん じゅうつうろ 磐田新駅南北連絡線(自由通路)		
事業概要 (400字以内)	本事業は、JR東海道本線及びJR東海道新幹線を跨ぐ歩行者専用道路であり、土地区画 みくりやえき 整理事業により整備した御厨駅北口広場及び南口広場を結ぶ道路であるとともに、JR東海 道本線袋井駅・磐田駅間に新設される御厨駅へのアクセス道路である。出入口には、エレ ベーターを配し、橋上駅である御厨駅にバリアフリーでアクセスすることができ、広場のバス・ タクシー乗場へもバリアフリーでの通行が可能である。 本路線の起点側では磐田市新貝土地区画整理事業が、終点側では磐田市鎌田第一土地 区画整理事業が施行されており、御厨駅を核としたまちづくりが推進されている。 令和2年3月14日に開業した御厨駅は1日約3,000人の利用が見込まれている。駅の設 置に併せ、本路線並びに北口、南口広場を整備し、南北の交流や連携の強化に加え、歩行 者が安全に通行でき、公共交通を利用することができる御厨駅を中心としたコンパクトなまち づくりの実現を目指す。		
事業規模	事業延長(km)	約 0.13km	
	幅員(m)	3.5～4.5m	
	事業期間(和暦)	平成26年度～令和2年度	
	事業費(億円)	約15億円	
URL	https://www.city.iwata.shizuoka.jp/kurashi_tetsuzuki/koutsuu/shineki/1001594.html		

事業位置図

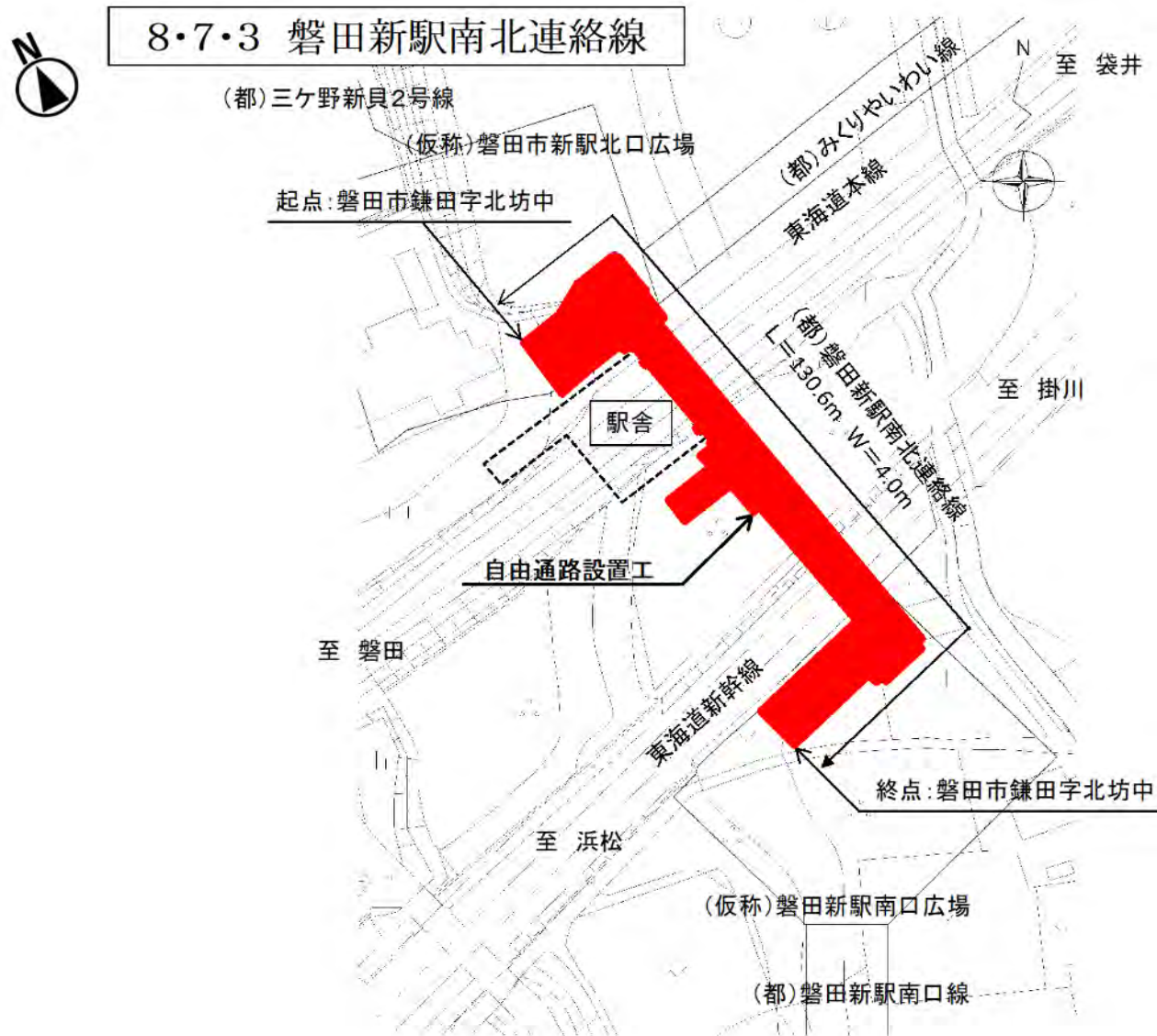


都市計画図(用途地域図)



凡 例	
-----	行政区域
=====	都市計画区域
=====	市街化区域
=====	市街化調整区域
用 途	第1種低層住居専用地域 (100/100) ~ (100/100)
	第2種低層住居専用地域 (100/100) ~ (100/100)
	第1種中高層住居専用地域 (100/100) ~ (100/100)
	第2種中高層住居専用地域 (100/100) ~ (100/100)
	第1種住居地域 (100/100)
	第2種住居地域 (100/100)
	準住居地域 (100/100)
	近隣商業地域 (100/100)
地 域	商業地域 (100/100)
	準工業地域 (100/100)
	工業地域 (100/100)
	工業専用地域 (100/100)
規 則	形状規則 165m ² 最低敷地面積
	第1種低層住居専用地域及び第2種低層住居専用地域の「戸建物の高さの制限」は「10m」。
地図上に表現されていない用途地域内及び市街化調整区域内の容積率は「200%」、また「延べ率」は「90%」。	

路線全体の進捗状況

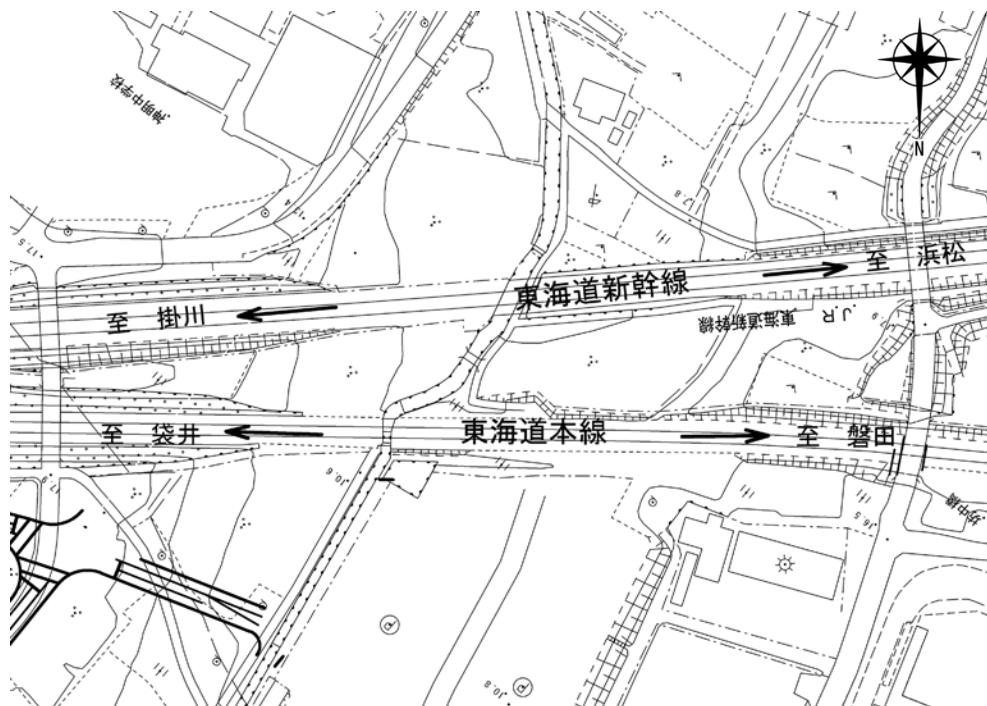


凡例

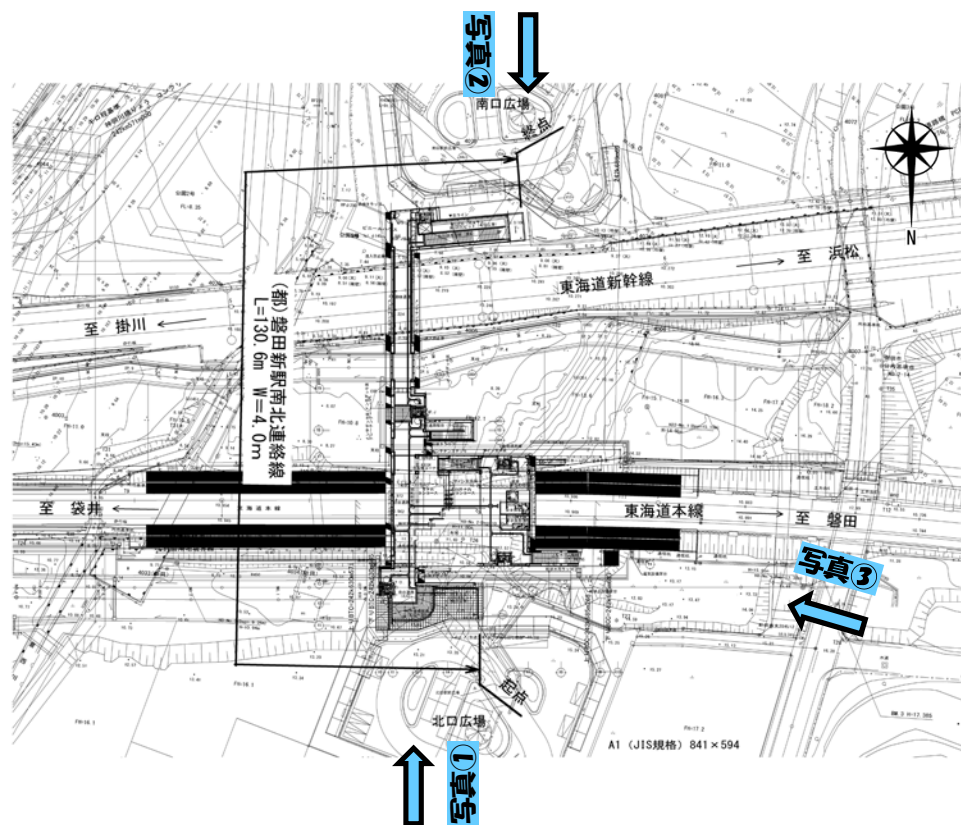
	今回応募区間
	施行済区間(完成区間)
	未施行区間

平面図

事業前



事業後

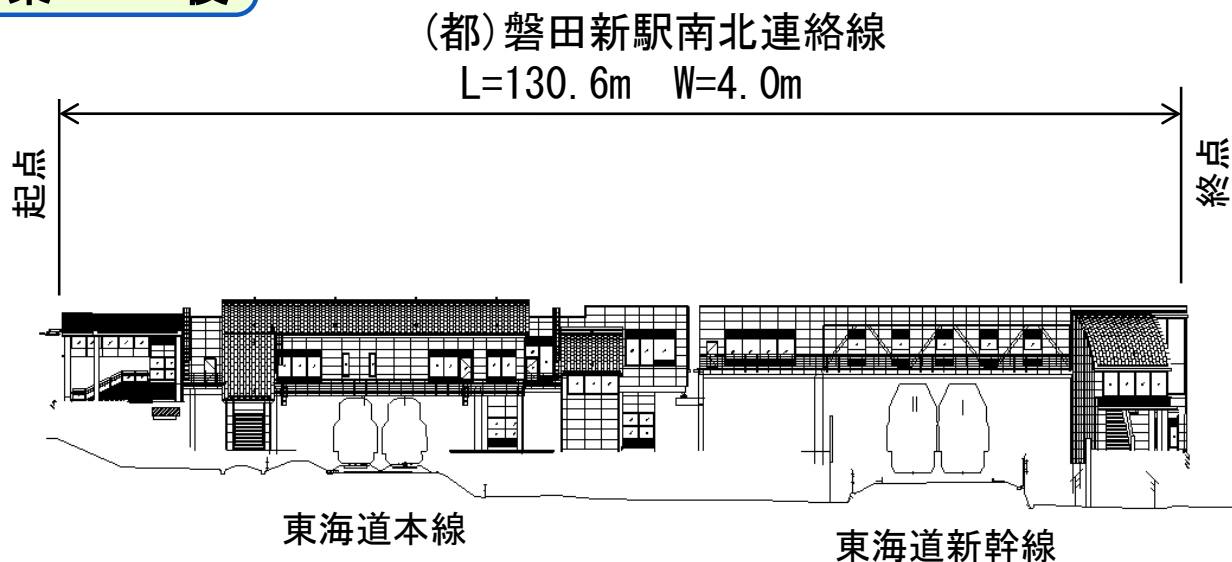


横断図

事業前



事業後



事業前写真



事業後写真

(磐田市：磐田新駅南北連絡線)



事業効果アピール資料

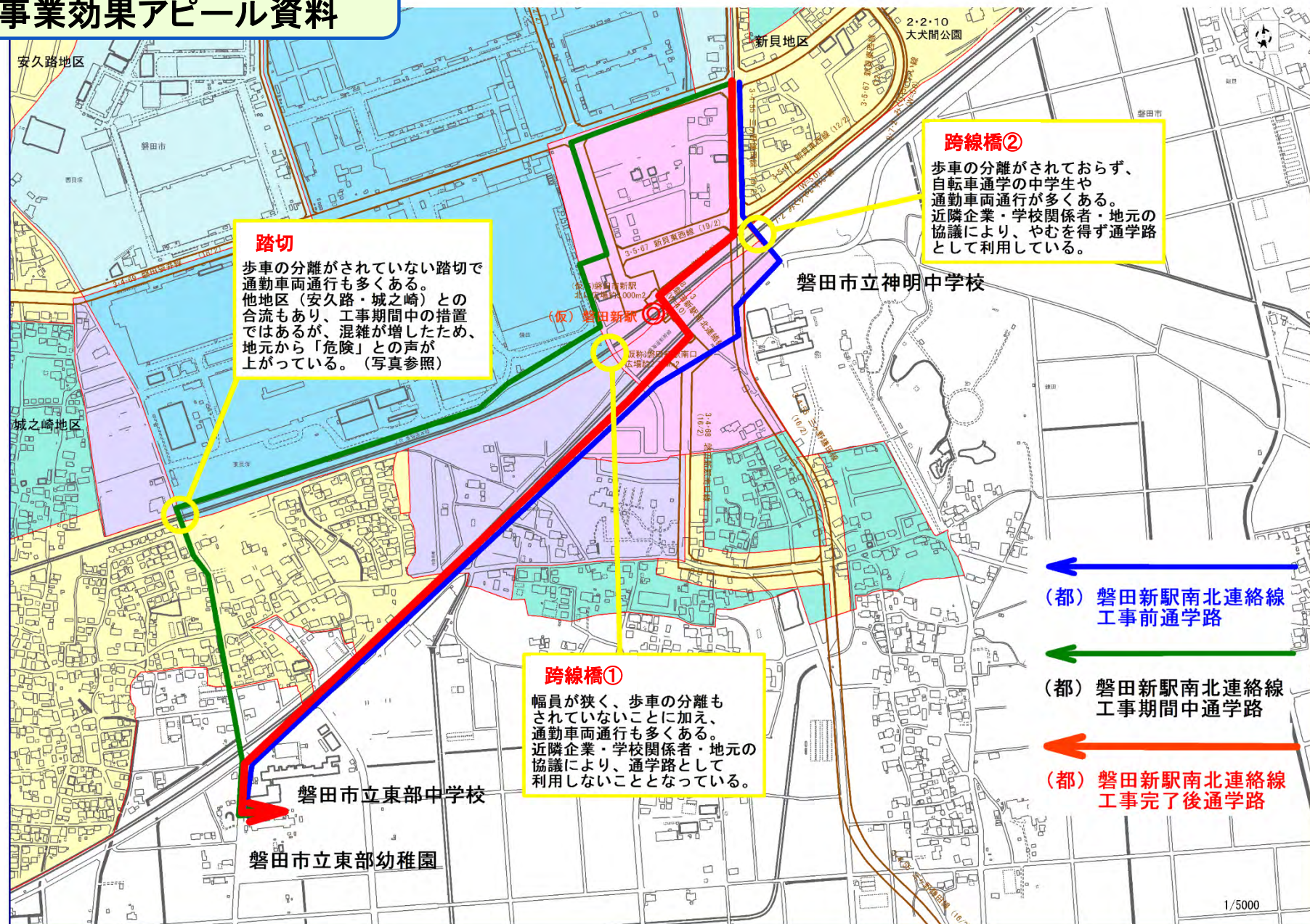
◎バリアフリーに対応した歩行者専用道路の整備により、歩道のない跨線橋の歩行者数が減少した。

	(整備前)		(整備後)
跨線橋①	80人	⇒	17人

◎小中学生は、歩道のない跨線橋や踏切を渡り通学していたが、(都) 磐田新駅南北連絡線の完成により、小中学生の通学路としても使用することとなり、通学時の安全を確保している。

		(整備前)		(整備後)
踏切	小学生	142人	⇒	0人
跨線橋②	中学生	250人	⇒	0人

事業効果アピール資料



歩道のない跨線橋を渡る中学生

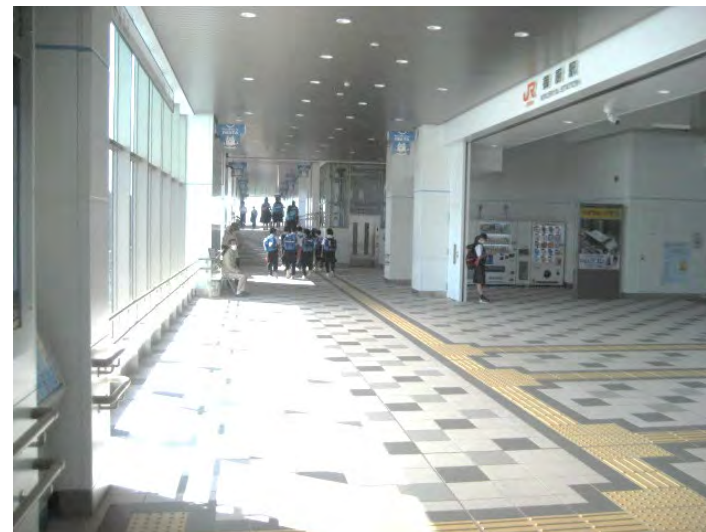
整備前

跨線橋②



整備後

(都) 磐田新駅南北連絡線



歩道のない踏切を渡る小学生

整備前

踏切



整備後

(都) 磐田新駅南北連絡線



苦労や工夫等アピール資料

◎ 駅舎及び本路線の開業には30年以上の年月を要した

新駅設置までの経緯は、地元地区7,455人より昭和62年に新駅設置の請願がありました。これを受けてJR東海に新駅設置の要望書を提出しました。

ここで、JRより新駅設置の条件が出されました。

- ・ 100ヘクタールの市街地の形成
- ・ 定住人口1万人の確保
- ・ 1日の乗降者数3,000人の確保

以上の3項目が条件提示され、磐田市は、この条件を満たすため、駅を中心としたコンパクトなまちづくりの形成を目指し、3つの組合施行の土地区画整理事業を計画し100ヘクタールの市街地形成と定住人口1万人を目指しました。

組合土地区画整理事業

- ・ 東 部 : 39.9ha 平成4年度開始
- ・ 新 貝 : 40.4ha 平成7年度開始
- ・ 鎌田第一 : 25.2ha 平成21年度開始

新駅・南北連絡線設置事業

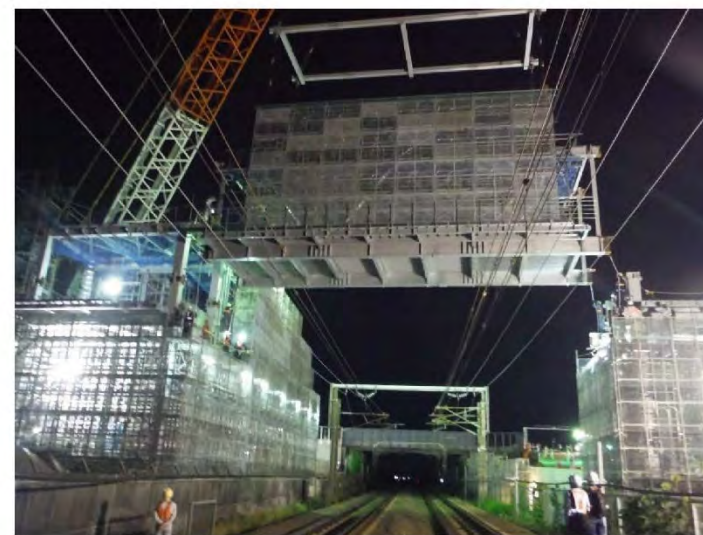
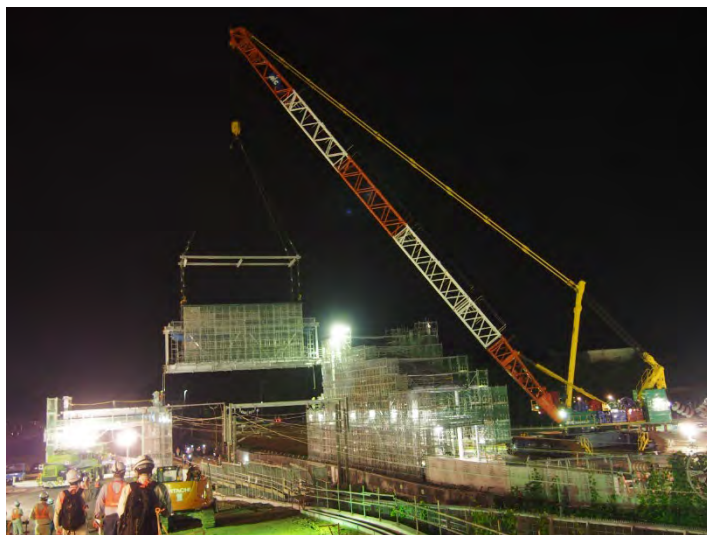
平成22年 調査設計協定締結
平成24年 基本協定締結
平成26年 工事協定を締結
令和2年3月14日 開業



◎ (都) 磐田新駅南北連絡線の架設にハプニング

本路線は、東海道本線及び東海道新幹線を跨ぎ設置しています。新幹線上空の作業は走行中の作業ができないため夜間工事となります。新幹線が通行しない午前0時頃から午前5時頃までの作業になりますが作業開始前に高圧送電線の電気を停止するなどの準備を行うと実質3～4時間での作業になります。

あらかじめ、新幹線の上空に架設するユニットを地上で制作し、全国でも数台しかない650tクレーンを組み立てて作業日を設定して行う予定でしたが、台風接近による吊り荷のユニットが大きく振れるトラブル等に見舞われ、確保していた2日間が延期となりました。大型クレーンの次の行先予定もある中、最終の3日目に何とか設置することができました。



受賞歴・報道資料

令和2年3月8日(日) 静岡新聞

「御厨駅」完成で式典 磐田の新拠点 にぎわいを創出

磐田市新拠点に14日開業するJR東海道線御厨(みくりや)駅の完成記念式典が7日、同駅北口広場で開かれた。市やJR、住民代表、周辺企業関係者約100人が出席し、地域の新たなシンボルとなる駅の「門出」を祝った。

磐田市長は住民の渡部修市長は住民の

「御厨駅」完成で式典
磐田の新拠点 にぎわいを創出

磐田市長は住民の渡部修市長は住民の

「御厨駅」完成で式典
磐田の新拠点 にぎわいを創出



JR御厨駅の完成を祝い、テープカットを行う関係者
＝7日午前、磐田市鎌田



北口広場に設置されたヤマハ発動機のモニュメント(左)、NTNの街路灯
＝7日午前、磐田市鎌田

「御厨駅」完成で式典
磐田の新拠点 にぎわいを創出

磐田市長は住民の渡部修市長は住民の

「御厨駅」完成で式典
磐田の新拠点 にぎわいを創出

「御厨駅」完成で式典
磐田の新拠点 にぎわいを創出

磐田市長は住民の渡部修市長は住民の

「御厨駅」完成で式典
磐田の新拠点 にぎわいを創出